

東京電機大学大学院 先端科学技術研究科 平成27年度 講義要目(シラバス)

科目名	情報通信先端演習
英文名	Advanced Topics on Information and Communication
学部学科	先端科学技術研究科 情報通信メディア工学専攻
配当学年	1・2・3年次
開講時期	通年
単位数	4.0
必選区分	選択
担当者名	小林 岳彦

目的概要	<ul style="list-style-type: none"> ・情報理論や電磁界理論をベースにしたワイヤレスシステム工学とその要素技術を理解し、さらにそれらの応用力を身に付け、研究の計画、実行および指導能力を体得する。 ・ワイヤレス通信、放送、レーダあるいはEMCなどの応用技術、標準およびそれらの歴史的背景に関する見識を涵養する。
教科書名	<p>研究テーマや論文の進捗状況に応じて、学生に自ら選ばせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小林 岳彦(監訳)、岩切 直彦、大坐 晶 智、幸谷 智、高橋 賢、森 香津夫、山崎 彰一郎 共訳「ゴールドスミス ワイヤレス通信工学」、丸善、東京、2007年8月。 ・J. Li and P. Stoica (eds.), MIMO Radar Signal Processing, Wiley, Hoboken, NJ, 2009. など
参考書名	<p>研究テーマや論文の進捗状況に応じて、学生に自ら選ばせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・A. F. Molisch, Wireless Communications, IEEE Press, 2005. など
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・研究室打合せ資料、外部発表成果物およびそれらのプレゼンテーションの量と質 ・研究室打合せや学会などにおける発言状況、後輩への指導、学会におけるボランティア活動(運営協力、査読、座長など)
テーマ・内容	<p>概ね次のような順序に従って指導する：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書、他人の論文や口頭発表の内容を理解し、その価値を評価できるようになること。 ・自らの研究テーマを選定し、研究計画を策定・実施・見直しする能力の涵養。 ・複数の参加者を必要とする実験やシミュレーションの計画策定、実施、データ処理、成果取りまとめ。 ・国内口頭発表(大会あるいは研究会)(適切な投稿先の選定、論文作成、投稿に際しての諸手続き、発表スライドとスクリプト作成、発表練習、出張、発表、他人の発表の聴講と質疑討論、帰国後の諸手続きと研究上のフォローアップ)。 ・国際会議発表(適切な投稿先の選定、論文作成・投稿、投稿に際しての諸手続き、発表スライドとスクリプト作成、発表練習、渡航準備と外国出張、発表、他人の発表の聴講と質疑討論、帰国後の諸手続きと研究上のフォローアップ)。 ・原著論文(特に理由がなければ英文誌)の投稿先選定(一般投稿か特集号か)、執筆・投稿、投稿に際しての諸手続き、特に条件付採録に対する対処法。 ・運営協力を含む広義の学会(国内、国外)活動、特に論文査読の作法。 ・研究を指導する能力と人格の涵養。
E-Mail address	koba@c.dendai.ac.jp
履修上の注意事項・学習上の助言	<p>社会人学生の場合は、研究室に出てくる時間は長くなくてもやむをえないが、電子メールなどで指導教員との連絡を密に取ること。</p>